

平成16年度鳥取空港周辺における航空機騒音調査結果

【大気・地球環境室】

1 はじめに

鳥取空港における航空機騒音の状況を把握し、必要に応じ行政の施策に資するため、例年、空港周辺の航空機騒音の調査を実施している。平成16年度の調査結果を報告する。

2 調査概要

1) 調査地点と調査期間

図1に調査地点、表2に調査期間を示す。調査は年2回(12月、3月)、1週間連続して調査した。

2) 調査方法

(1) 調査の方法は、環境庁告示「航空機騒音に係る環境基準について(昭和48年環境庁告示第154号)」により実施した。

(2) 測定条件は、リオン式騒音自動測定器に航空機騒音識別ユニットを取り付けた状態で、継続時間5sec、聴感補正回路A特性、動特性slow、設定レベルは、地点63dB、地点70dB、地点65dBで実施した。

また、鳥取空港のフライト時刻とピークレベル時刻とを照合し、一致する騒音を航空機騒音とした。

(3) なお、航空機騒音の評価は、ピークレベル及び機数から次の算式により1日ごとの値(単位:WECPNL=加重等価平均騒音レベル)を算出した。

$$WECPNL = dB(A)_{(注1)} + 10\log_{10}N_{(注2)} - 27$$

(注1) dB(A): 1日のすべてのピークをパワー平均した値

(注2) $N = N_2 + 3N_3 + (N_1 + N_4)$

N_1 = 午前0時～午前7時までの航空機数

N_2 = 午前7時～午後7時までの航空機数

N_3 = 午後7時～午後10時までの航空機数

N_4 = 午後10時～午後12時までの航空機数

3 調査結果

1) 平成16年度の測定結果を表3、図2に示す。地点49.6～59.7(年平均56.8)、地点47.1～64.9(年平均59.8)、地点46.9～67.8(年平均62.2)であった。

各調査期間ごとにみると、例年の地点では、WECPNL70を超えた週もあったが、今年度は、各地点ともすべてWECPNL値は70以下であった。

環境基準は、地域の類型ごとに表1に示すとおりであり、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定することになっている。

なお、当県では、航空機騒音に係る環境基準の類型の当てはめはしていない。

2) 図3に平成11～平成16年の経年変化を示す。平成13年度以降、各地点とも、WECPNL値がわずかずつ下がってきている。



図1 調査地点

表1 環境基準

地域の類型(注3)	基準値(単位:WECPNL)
	70以下
	75以下

(注3) をあてはめる地域は専ら住居に供される地域とし、 にあてはめる地域は 以外であって通常の生活を保全する地域

表2 調査地点・調査期間

調査地点NO	調査地点場所(名称)	調査期間	
地点	鳥取市賀露(賀露公民館)	H16.12.2~H16.12.8	H17.3.18~H17.3.24
地点	鳥取市湖山西(県警航空隊)	H16.12.10~H16.12.16	H17.3.26~H17.4.1
地点	鳥取市伏野中茶屋(警察学校)	H16.12.2~H16.12.8	H17.3.18~H17.3.24

表3 平成16年度鳥取空港周辺航空機騒音調査結果

単位:WECPNL

12月				
調査日	地点	地点	調査日	地点
12/2(木)	56.4	46.9	12/10(金)	50.4
12/3(金)	58.6	(-)	12/11(土)	47.3
12/4(土)	58.9	(-)	12/12(日)	61.9
12/5(日)	50.3	63.5	12/13(月)	49.2
12/6(月)	59.7	(-)	12/14(火)	64.9
12/7(火)	(-)	62.0	12/15(水)	59.7
12/8(水)	56.0	(-)	12/16(木)	59.4
週平均	57.4	61.5	週平均	59.8
3月				
3/18(金)	49.6	67.8	3/26(月)	52.8
3/19(土)	(-)	60.1	3/27(火)	50.2
3/20(日)	(-)	60.3	3/28(水)	47.1
3/21(月)	(-)	52.4	3/29(木)	55.5
3/22(火)	57.0	63.6	3/30(金)	64.9
3/23(水)	58.1	63.5	3/31(土)	47.4
3/24(木)	56.0	62.1	4/1(日)	64.4
週平均	56.1	63.1	週平均	59.7
年平均	56.8	62.2	年平均	59.8

(注) フライト時刻とピークレベルの一致した騒音が特定できなかった場合は(-)とした。

